

地域活性化起業人の活動内容をお届け!

南伊勢町

行ったり来たり



地域活性化起業人 岡田 侑子

9月の活動をお伝えします。

こんにちは。地域活性化起業人の岡田です。この原稿が公開されている頃にはもう肌寒くなっているのかなと思いますが、今年の夏は、南伊勢で今までにないくらい充実した夏を過ごしました。

私は、映画『サマーウォーズ』の「田舎のおばあちゃん家に親戚みんな大集合」みたいなあたたかい空間を、家族や親戚じゃない人たちでもつくることはできないかと思ってかねがね活動しておりますが、この夏、ついに叶いました。

7月から9月にかけて、みかん収穫のお手伝いや、ふるさとワーキングホリデーの過去参加者、「南伊勢の扉」のメンバーなどなど、首都圏の若者20人近くが南伊勢の我が家に泊まりにきてくれました。泊まりにきてくれた人たちには、より良い滞在のために、アンケートに答えてもらうようにしているんです。そしたら、アンケートのなかに「初めての地にポンっときて、これだけ深く人と関われる環境はなかなかないのでは?」「岡田家に地域の人たちが集まってくるのが親戚みたいでおもしろかった」との声が。



たしかに、いつもお世話になっている方々がお子さんを連れて晩御飯にあそびに来てくれたり、南伊勢に住む高校生、大学生の子が顔を出しに来てくれたりと、地域内外のいろんな世代が集まる空間に、気づいたら我が家はなっていました。いまや「故郷のない東京人」が増えています。

そうした人たちは、わちゃっと親戚で集まる機会があんまりないんです。この夏、南伊勢に来てくれたみんなにとって、南伊勢が「故郷」のような存在になってくれてたらうれしい限りです。



さて、9月には、私が代表をしている「南伊勢の扉(通称みなとび)」という首都圏の大学生が地域活動を行う団体で、1週間のフィールドワークを実施。南伊勢を好きになってもらいたいという気持ちで「本気のフィールドワーク」を行いました。地域で活躍される方々を先生に「一次産業の未来」「うみべのいえの空き家活用」「宿田曾地域での住民主体のまちづくり」など、さまざまな切り口で南伊勢を知ってもらいました。これから南伊勢の扉の3人の大学生が地域のためにできることを考え、実行していく半年間がはじまります。手探りながらですが、あたたかく見守っててくださいね。11月と3月にも、また南伊勢を訪れます。

二拠点生活ではありますが、この夏はほとんど南伊勢にいて、南伊勢から始発で東京のオフィスに出社する日も多々。(エクストリーム出社と名付けていました)移動がかなり多くてタフな日々ではありましたが、南伊勢でかけがえのない充実した時間を過ごせたので、たのしく乗り越えました。理想の夏、南伊勢にあり!!

余談ですが、南伊勢の自然や伊勢志摩国立公園であるという立地に惚れ込んだ大学博士課程で学ぶ友達と、テクテク会に参加してみたいねと話しています。



今回は1月号に掲載予定です

問い合わせ先

まちづくり推進課 政策係
☎0599-66-1366